



はぐ便り

2021年
7月号
【第85号】

思春期ってどんな時期??



思春期は、身体の成長に心の成長が追いつかず、不安定な気分になりやすい時期であり、子どもは自分の変化に不安や葛藤を覚え、その子どもの様子に親も戸惑いや悩みを抱える時期です。我が家の息子も思春期を迎え、身長が伸び、声変わりもしました。会話のちょっとしたところに引っかかって、言い合いになることもあります。成長した証拠だなとうれしく思う反面、イラっとすることもあります。

子どもが言うことを聞かなくなったとしても、それは子どもの自立や親離れが始まった証拠なのだそうです。子どもの変化を受け止め、自立を支えてあげられるようより良い子どもとの関係づくりに努めましょう!

昨年度のはぐ講座で教えていただいた『子育て四訓』をもう一度ご紹介します!

子育て四訓

乳児はしっかり肌を離すな
幼児は肌を離せ 手を離すな
少年は手を離せ 目を離すな
青年は目を離せ 心を離すな

「少年は～」の言葉が思春期に該当するところですね。少年期は友人関係が広がり、社会性が育つので、親は手を離して、行動範囲を広げてあげなければなりません。つまり親も子離れしていく必要があるのだそうです。そして同時に色々な危険が予想されますので、目を離さないで見守ることも大事です☆

親の支援POINT

- ① 安心できる環境
→ 不安な気持ちを和らげてあげましょう。
- ② 子どもへの共感
→ 共に考え、共感する気持ちを伝えることも大切です。
- ③ 受け入れる姿勢
→ 子どもが「求めている時」に応じましょう。また子どもを尊重すると同時に責任を果たさせることも必要です。
- ④ プレずに一貫した対応
→ 親の気分や都合で対応が変わらないように。
- ⑤ 遠慮せずに話し合える関係
→ ①～④ができると、何でも話せる良い親子関係に。

最後にもう一つ、言葉をご紹介します!

啐啄同時 (そったくどうじ)

この言葉は、鳥のひなが卵からかえるとき、ひなが内側から殻をつく音を親鳥が聞くと、すかさず外側からも殻をついて手助けするという意味なのだそうです。

成長して、自らの殻を破ろうとしている子どもへの支援がこのようにタイミングよく行えばいいなと思います。そのためには、子どもをよく見て、声を聴いてあげることが大事ですね☆

※ 500万部突破!!



思春期の
トリセツあれば
ベストセラー☆



【情報メディアコラム】



スマホやゲームとどう付き合う??

【第3回】『ネット・ゲームに依存するとどうなるの?』

ネットやゲームに依存すると、次のような特徴が表れます。

- ① 早くやりたいと強く思う。(渴望)
- ② 約束を守りたくても守れない。
(コントロール障害)
- ③ ネットやゲームができないとイライラしたり、無気力になったりする。(離脱症状)
- ④ 同じ時間や刺激で満足できなくなる。
(耐性)
- ⑤ 生活の中心が、学校ではなくネットやゲームになってしまう。(生活への支障)
- ⑥ 不健康な生活だと気づいても、自分の力ではやめることができない。(やめられない)

お子さんの様子はいかがですか…?

次回 ➡ 「ネット・ゲーム依存にならないために…」

盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』2021年7月号

令和3年7月15日発行

発行者・問合せ 盛岡市教育委員会 生涯学習課

住所：盛岡市津志田14-37-2 TEL：019-639-9046

E-mail: edu.sgs@city.morioka.iwate.jp